

テトラクロロエチレン等による地下水汚染地区の見直しについて

テトラクロロエチレン等による市内6地区の地下水汚染については、平成13年に公表後、汚染源確定地区において浄化対策を実施するとともに、地下水モニタリング調査による監視を継続してきました。また各汚染地区の汚染範囲、濃度の状況変化を確認するため、地区毎に再調査を実施することとし、平成20年度から順次「南部地区」、「鶯谷・殿町地区」、「厚見地区」の汚染範囲の縮小を確認し、公表したところです。

今回、『新栗野地区』の再調査を実施しましたので、その結果について以下のとおり報告します。

記

- 1 調査目的 : 汚染範囲の確定後、約10年経過することから、地下水の汚染の現況を再度把握する。
- 2 調査期間 : 平成23年1月
- 3 調査方法 : 汚染地区内及びその近傍において、**井戸水検査を実施し、平成13年当時の調査結果と比較検証した。**
- 4 調査件数 : 82地点
- 5 調査結果
テトラクロロエチレン

調査期間	平成23年1月	
区分	濃度範囲(mg/L)	検体数
不検出(0.0005未満)	<0.0005	51
検出(0.0005以上0.01以下)	0.0011~0.0095	24
基準超過(0.01超過)	0.012~0.021	7
計		82

- 6 結果概要
平成13年当時の汚染状況やこれまでのモニタリング調査結果及び今回の再調査結果から、**濃度は横ばい傾向であり、汚染範囲の変化もありませんでしたので**、学識経験者の意見をもとに、**汚染範囲の変更はなし**としました。
(別添「新栗野地区の見直し図」参照)

- 7 今後の対応
『新栗野地区』については、モニタリング調査の地点を見直し、監視を継続します。また、残る2つの汚染地区(『真砂町西側地区』、『切通地区』)についても、順次、その汚染状況を再度確認するため再調査を実施します。

- 8 その他

6地区のモニタリング調査結果状況

『真砂町西側地区』: 改善傾向。

『切通地区』 : 大きな変化なし。

『南部地区』 : 平成20年度の見直し後、大きな変化なし。

『鶯谷・殿町地区』: 平成22年度の見直し後、大きな変化なし。

『厚見地区』 : 平成22年度の見直し後、大きな変化なし。

『新栗野地区』 : 今回見直し、変化なし。

新栗野地区の見直し図
(平成23年10月)

栗野台

山県市

岩野田北
小学校

見直し後の新汚染地区

H13年度に確定した汚染地区

